

芸術科（書道）において育成すべき資質・能力の整理 （検討のたたき台）

平成28年2月23日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
（第5回）資料1-1

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>書道 高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書を構成する要素とその表現効果の視点から、作品を深く理解したり、生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化について書の特質に即して理解したりすること など ・感性を働かせて、意図に基づいた創造的な表現を構想し工夫するために、用具・用材の特徴を理解し、書の伝統に基づいた効果的な書表現の技能を身に付けること など 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、書を構成する要素と<u>その関連から生み出される働きを捉える</u>などして、感性を働かせながら、自らの思いや意図に基づいて作品を構想し、表現を工夫すること など ・書を構成する要素と<u>その関連から生み出される働きを捉える</u>などして、書表現を創造的に味わったり、作品の価値を考えるなどして、文字や芸術としての書の伝統と文化について幅広く理解し、書に対する見方や考え方を広げたりすること など 	<ul style="list-style-type: none"> ・書への関心・意欲・態度 ・感性 ・文字や書の生活や社会の中での働きや効用を考え、主体的に関わる態度 ・生涯にわたり書を愛好する心情 ・書の伝統と文化を尊重する態度 ・情操 など

下線部は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なもの